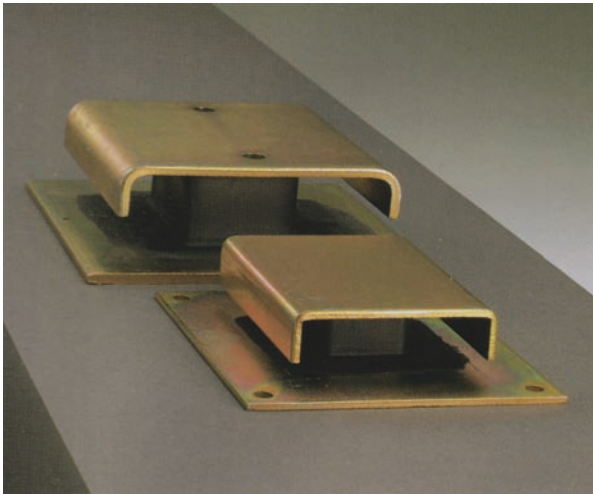




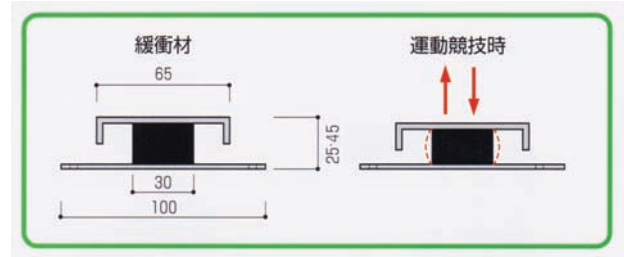
運動競技（スポーツ・イベント）で床に要求される性能の中で、一番重要な性能は安全性と快適性です。近年、各種イベントが行えるアリーナの建設が話題になっています。そこで問題になるのは、イベント時の荷重条件を考えた場合、緩衝材一ヶ所に加わる静荷重が大変大きなものとなり、十分な緩衝作用が働かなくなることです。このため、安全性・快適性の性能が悪くなります。

ジム・エース《スーパー G》は、この問題を解決するために、一ヶ所に加わる静荷重を分散し、床面で均一的に受けることにより、均一した床の硬さ、弾力性を発揮できる工法を開発しました。床面の安全性と快適性を追求した結果、デッキプレートを根太鋼とし、デッキプレートの底面と大引鋼の間に保護装置付緩衝材を取り付けることにより、従来荷重を支持脚上部で受けていたものを、面で受けることで1力所に加わる荷重を1/5~1/10に低減することが可能になりました。

この工法によりジム・エース《スーパー G》は、スポーツ・イベント時での安全性・快適性の性能を十分満足させることに成功しました。さらに、種々の荷重条件により緩衝材の形状、硬さ等を変えることで均一な安全性・快適性の性能を維持できます。



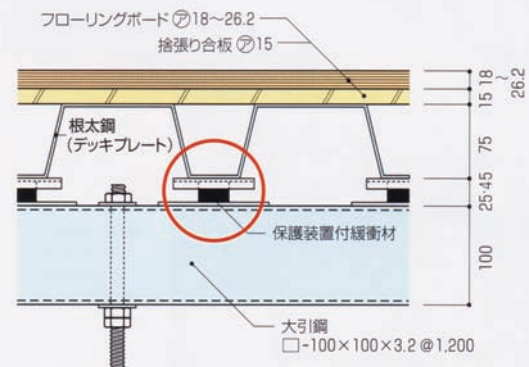
■ ジム・エース《スーパー G》の弾力性



高耐荷重用の床は、使用部材の強度・重量が大きくなることから、緩衝材を支持脚と大引鋼の間に設置する従来の工法では、十分な緩衝性能を確保することが困難となります。

ジム・エース《スーパー G》は、デッキプレートと大引鋼の間の保護装置付緩衝材により、荷重を面で受け分散させ、どのポイントでも弾力性値 (Y)、緩衝効果値 (U) のバラツキを大変小さくし、高い振動の減衰性を保ち、常に均一な安全性・快適性を発揮する工法です。

■ ジム・エース《スーパー G》



■ 従来の工法

